

国語 ^α 中1

この本の使い方 この本は、確認問題(各2P)と練成問題(各2P)で構成されています。

- ◇ **確認問題** 基本事項を確認します。
 - ① 基礎的な漢字・熟語が読めるかチェックします。
 - ② 文章のキーワードや難解な語の意味が理解できているかをチェックします。
わからない場合は国語辞書で調べましょう。
- ◇ **練成問題** 確認問題ができれば、練成問題にチャレンジしましょう。

CONTENTS

1	漢字	2~5	詩 総合問題	24~25
	1-1	漢字(1)		
	1-2	漢字(2)		
2	語句	6~9	説明的文章	26~29
	2-1	語句(1)	8-1	説明的文章 指示語をつかむ(1)
	2-2	語句(2)	8-2	説明的文章 指示語をつかむ(2)
3	文学的文章	10~13	説明的文章	30~33
	3-1	文学的文章 場面をつかむ(1)	9-1	説明的文章 接続語をつかむ(1)
	3-2	文学的文章 場面をつかむ(2)	9-2	説明的文章 接続語をつかむ(2)
4	文学的文章	14~17	説明的文章 総合問題	34~35
	4-1	文学的文章 心情をつかむ(1)		
	4-2	文学的文章 心情をつかむ(2)		
5	文学的文章 総合問題	18~19	文法	36~39
			11-1	文法 主語・述語・修飾語、係り受け
			11-2	文法 文・文節・単語
6	詩	20~23		
	6-1	詩 詩入門—詩の分類		
	6-2	詩 詩入門—表現技法		

1-1

漢字(1)

学習日

確認問題

1 次のそれぞれの文の——線部の漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

- (1) 姿勢を正しくする。〔 〕
- (2) 興奮して大声を出す。〔 〕
- (3) 物語の元祖といわれる。〔 〕
- (4) 皮革製品を買う。〔 〕
- (5) 時間を短縮する。〔 〕
- (6) 板に絵を刻む。〔 〕
- (7) 険しい山道を歩く。〔 〕
- (8) 長い年月を経る。〔 〕
- (9) 額に汗をか^{あせ}く。〔 〕
- (10) アリが餌^{えさ}に群がる。〔 〕

2 次のそれぞれの文の——線部のカタカナを、漢字で書きなさい。

- (1) キケンな目にあう。〔 〕
- (2) オンシの家を訪問する。〔 〕
- (3) バスのウンチンが上がる。〔 〕
- (4) 不思議なゲンシヨウ。〔 〕
- (5) 手をセイケツにしておく。〔 〕
- (6) 葉のコウカがあらわれる。〔 〕
- (7) ジョウシキある態度。〔 〕
- (8) 兄のセンモンは文学だ。〔 〕
- (9) 荷物をトドける。〔 〕
- (10) 初日の出をオガむ。〔 〕
- (11) ノウの働^{はたら}きが活発になる。〔 〕
- (12) ヨクジツは晴れていた。〔 〕
- (13) 川のミナモトをたどる。〔 〕
- (14) ココロヨい風が吹^ふく。〔 〕
- (15) りっぱに役目をハたす。〔 〕
- (16) 夏休みの計画をネる。〔 〕

③ 次の——線部の漢字として正しいものを選び、○で囲みなさい。

- (1) イ|ガ|イな出来事を経験する。
 「 以外 意外 」
- (2) 方角のケ|ントウをつけて進む。
 「 検討 見当 」
- (3) 絵画にカ|ン|シ|ンを示す。
 「 関心 感心 」
- (4) この絵はカ|イ|シ|ンのできばえだ。
 「 改心 会心 改新 」
- (5) とらわれた人々をカ|イ|ホウする。
 「 開放 解放 会報 」
- (6) キ|カ|イがあつたら、またお会いしましょう。
 「 機会 機械 器械 」
- (7) いつも決まったシ|ユウ|カ|ン誌を読む。
 「 習慣 週間 週刊 」
- (8) コウ|セ|イな判断をする。
 「 構成 公正 校正 後世 」

④ 次のそれぞれの文には、まちがった漢字が一つぶくまれています。それを書きぬいて、正しい漢字に直しなさい。

- (1) 毎晩、食事の後に暑いお茶を飲む。
 「 ↓ 」
- (2) 窓を空けると、すずしい風が入ってきた。
 「 ↓ 」
- (3) 会議の司会を勤める。
 「 ↓ 」
- (4) 自分の席に付いて、静かに話を聞く。
 「 ↓ 」
- (5) 祖父の型見の品を大事に持っている。
 「 ↓ 」
- (6) 生まれて始めてこんな美しい海を見た。
 「 ↓ 」
- (7) 火事に供えて、消火器を設置する。
 「 ↓ 」
- (8) 日本国民は、税金を治める義務がある。
 「 ↓ 」

1-2

漢字(2)

学習日

確認問題

1 次の漢字の中には一つだけ部首の異なるものがあります。その漢字を書きなさい。

□(1) 〔陸 都 限 除〕 ↓ 〔 〕

□(2) 〔秋 私 穀 利〕 ↓ 〔 〕

□(3) 〔空 安 家 宇〕 ↓ 〔 〕

□(4) 〔門 間 聞 開〕 ↓ 〔 〕

□(5) 〔臓 肺 朝 腹〕 ↓ 〔 〕

□(6) 〔兄 古 各 号〕 ↓ 〔 〕

□(7) 〔往 従 街 復〕 ↓ 〔 〕

2 次のそれぞれの組の熟語とつしが対義語になるように、□に入る適切な漢字をそれぞれのあとから一つずつ選び、□に書きなさい。

□(1) 悪徳⇕□徳
〔良 善 美〕

□(2) 赤字⇕□字
〔青 黒 黄〕

□(3) 正常⇕□常
〔悪 異 否〕

□(4) 私立⇕□立
〔公 他 自〕

□(5) 過去⇕□
〔未 未 来 行〕

□(6) 消費⇕□貯生
〔使 産 貯 生〕

□(7) 全体⇕□
〔各 分 小 部〕

□(8) 損害⇕□
〔有 益 利 失〕

3 次のそれぞれの組の熟語とつしが類義語になるように、□に入る適切な漢字をそれぞれのあとから一つずつ選び、□に書きなさい。

□(1) 永遠⇕永□
〔久 住 別〕

□(2) 感動⇕感□
〔想 激 覚〕

□(3) 以後⇕以□
〔上 前 降〕

□(4) 善意⇕□意
〔好 悪 総〕

□(5) 用意⇕□
〔順 心 備 準〕

□(6) 同意⇕□
〔賛 参 加 成〕

4 次の——線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- | | | | | | | | |
|-----------------------|--|-----------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|
| □(8) 行 _レ く | □(7) 分 _レ ける | □(6) 皇 _レ 族 | □(5) 守 _レ る | □(4) 増 _レ える | □(3) 粉 _レ 薬 | □(2) 品 _レ 物 | □(1) 言 _レ い訊 |
| ・ () | ・ () | ・ () | ・ () | ・ () | ・ () | ・ () | ・ () |
| 行 _レ う | 自 _レ 分 | 天 _レ 皇 | 守 _レ 備 | 増 _レ す | き _レ な粉 | 動 _レ 物 | 英 _レ 訊 |
| ・ () | ・ () | ・ () | ・ () | ・ () | ・ () | ・ () | ・ () |
| 行 _レ 進 | 十 _レ 五 _レ 分 | 法 _レ 皇 | 留 _レ 守 | 増 _レ 加 | 花 _レ 粉 | 荷 _レ 物 | |
| ・ () | ・ () | ・ () | ・ () | ・ () | ・ () | ・ () | |
| 行 _レ 列 | 五 _レ 分 _レ 五 _レ 分 | | | | | | |
| ・ () | ・ () | | | | | | |

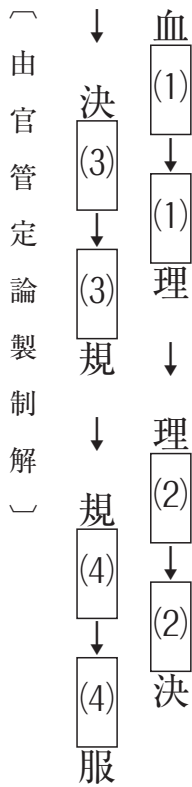
5 次の漢字の総画数は何画ですか。算用数字で答えなさい。

- | | |
|--------|--------|
| □(1) 郡 | □(2) 吸 |
| □(3) 組 | □(4) 起 |
| □(5) 海 | □(6) 過 |

6 次の漢字はどこから書き始めますか。一画目を黒くぬりなさい。

□(4) 必	□(1) 快
□(5) 将	□(2) 非
□(6) 臣	□(3) 上

7 □(1) □(4) に入る漢字をあとから一つずつ選び、熟語のしりとりを完成させなさい。



- | | |
|----------|----------|
| □(3) () | □(1) () |
| □(4) () | □(2) () |

3-1

文学的文章

場面をつかむ(1)

確認問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(注) 一過＝一度にさっと通り過ぎること。

〈かしわ哲「茅ヶ崎のでっちゃん」より〉

① 本文中の次のことばの読みを確認しましょう。

- | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> A 円い | <input type="checkbox"/> B 輝く | <input type="checkbox"/> C 拜む |
| <input type="checkbox"/> D 片方 | <input type="checkbox"/> E 大工 | <input type="checkbox"/> F 再び |

② 本文中の次のことばの意味を確認しましょう。

- | |
|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> a 清々しい |
| <input type="checkbox"/> b 応急処置 |

③ 上の場面にはいつのできごとが描かれていますか。最も適切なものを次から選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 台風が来る前の、よく晴れた朝。
- イ 台風が過ぎたあとの、よく晴れた朝。
- ウ 台風の勢いが弱まって、わずかな青空がのぞいた朝。
- エ 台風の目に入り、わずかな青空がのぞいた朝。

④ 線部「明がいち早くそれを見つけ、家族を集めた」とありますが、明はどんなことを教えようとして家族を集めたのですか。最も適切なものを次から選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 天井に直径十センチもの穴があいていること。
- イ 天井にあいた穴が円い形をしていること。
- ウ 天井にあいた穴からきれいな青空が見えること。
- エ 天井にあいた穴の応急処置が必要なこと。

② 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈さだまさし「精霊流し」より〉

(注) 貸本Ⅱ本を貸す商売の店から借りた本。

① 本文中の次のことばの読みを確認しましょう。

A 怖い B 滑る

C 黙る D 合図

E 原因 F 禁じる

② 本文中の次のことばの意味を確認しましょう。

a 平然

b なめる

③ 線部「母は本気で怒った」とありますが、この場面で、母はどんなことに対して怒っているのですか。最も適切なものを次から選び、記号を○で囲みなさい。

ア 繁が川に落ちて大切な服を濡らしたこと。

イ 繁が川に入って命を危険にさらしたこと。

ウ 繁が不注意から貸本を水に濡らしたこと。

エ 繁が崖から滑って落ちたこと。

④ 本文を二つの場面に分ける場合、後半はどこから始まりますか。後半部分の最初の五字を書きぬいて答えなさい。

--	--	--	--	--